ゆい
結通信

NO. 52
2022年4月25日

ともに歩む 結みのお
〒562-0003 箕面市西小路3-12-6
Tel&Fax 072-722-9914
E-mail：yui-minoh@hcn.zaq.ne.jp
http://www.yui-minoh.com
https://www.facebook.com/yuiminoh
郵便振替番号：00920-8-300135（ともに歩む『結みのお』）

想像力を働かせよう！

牧野 直子

迫りくる「2025年問題」

戦後のベビーブームに生まれて日本の高度成長を支えてきた団塊の世代が後期高齢を迎える2025年までに医療や福祉の制度改革をしないと日本社会は持たないといわれてきました。団塊の世代の一人としてそれまでに「地域で共に支え合う仲間を増やし、地域を耕しておかないと」との思いでした。

「結みのお」を立ち上げて13年

「結みのお」を立ち上げた年に私は還暦を迎えました。これまでに発行した結通信を読み返しつつ、13年の流れを振り返ってみました。今回の結通信52号で「結仲間」のつながりが着実に拡がり、深まっていることを感じ、心強いかぎりです。

結通信の巻頭文でも毎回言葉や表現は違っていても言っている内容は同じです。そしてその思いは会員の皆様と共有できると思っています。考え方が違っていてもいい、お互いに影響を与え合える関係づくりが大事だと思います。自分の思いを率直に出せるという場を「結みのお」で育みたいと思います。そして人との関係の中で気づくことが大切です。まさに「育ちあい、分かち合い、助け合う」仲間づくりです。

「どうなる？これからの社会」

世界を見渡せば、コロナウイルス感染が終息する気配はなく、ロシアのウクライナ攻撃という厳しい現実に直面しています。世界中でコロナへの対応に力を合わせなければならないときに、人間同士が殺し合いをしているのです。場合によっては第3次世界大戦にさえ発展しかねない状況です。人間ってなんと愚かな生き物だろうと思ってしまいます。同じ過ちを繰り返さないために国連を作り、そして「持続可能な社会を」とSDGｓのスローガンを掲げてきたはずなのに。世界の資源を奪い合っている場合ではありません。戦争は何よりの環境破壊であり、大切な命を奪い合うことは地球を破滅へと追い込みます。

心に響いた小出裕章さんのお話

先日、15%クラブの最後のイベントとして元京大原子炉実験所におられた小出裕章さんを箕面にお招きしてお話を聴きました。とてもわかりやすいお話でした。「地球温暖化が問題なのではなく、私たちがエネルギーを使いすぎていることが何よりの問題」「原発を動かす必要がないように一人一人が徹底して省エネ生活を！」ということだと気づかされました。彼の話に説得力があるのは、日頃からそれを生活の中で実践しておられるからだと思います。水や木などの地域資源を大切にして地域でエネルギーを起こし、持続可能な社会を築いてきた日本の先人の知恵と工夫に再度目を向け、日ごろの自分の生活を見直すところから始めたいと思います。

目を凝らしてみる

そして現実の社会の見えないところを見ようとする想像力も必要です。

私たちが普段使っている電気を起こしたり、原子炉の廃炉のために放射能を浴びながら危険な作業をしておられる現場の方々に思いを馳せる、そのような想像力を持ちたいと思います。

「結みのお」の事務所に様々な署名用紙がおかれています。その一つ一つから現場で苦しむ方々の悲痛な声が聞こえます。沖縄の問題や子ども脱被ばく裁判の問題など、それらを通して中々見えない実態をみようとする力を育みたいと思います。

★「原発事故は終わっていない」

福島原発事故から10年。
小出裕章著　毎日新聞出版

原子力廃絶を訴え続けて半世紀。
反骨の科学者、渾身の書き下ろし。
1430円（税込み）
結文庫にもあります。